

2014年3月期第2四半期 業績説明会 業績総括 及び 事業方針

2013年11月7日 住友林業株式会社

代表取締役社長 市川晃

森のちからを、未来のちからに。

- **事業環境について**
- **2014年3月期 第2四半期実績について**
- **2014年3月期 通期予想について**
- **住宅事業について**
- **木材建材事業および海外事業について**
- **海外住宅事業について**
- **新規事業について**
- **売上高1兆円、経常利益300億円体制の構築**
- **株主還元について**

国内外の経済状況

- 国内経済は、アベノミクス効果もあり、消費者マインドは上向き、企業収益も拡大傾向。
- 海外においては、米国経済の回復基調をはじめ全般的に持ち直しているものの、中国やインドをはじめとする新興国の減速感、米国の財政問題等、懸念事項もあり。

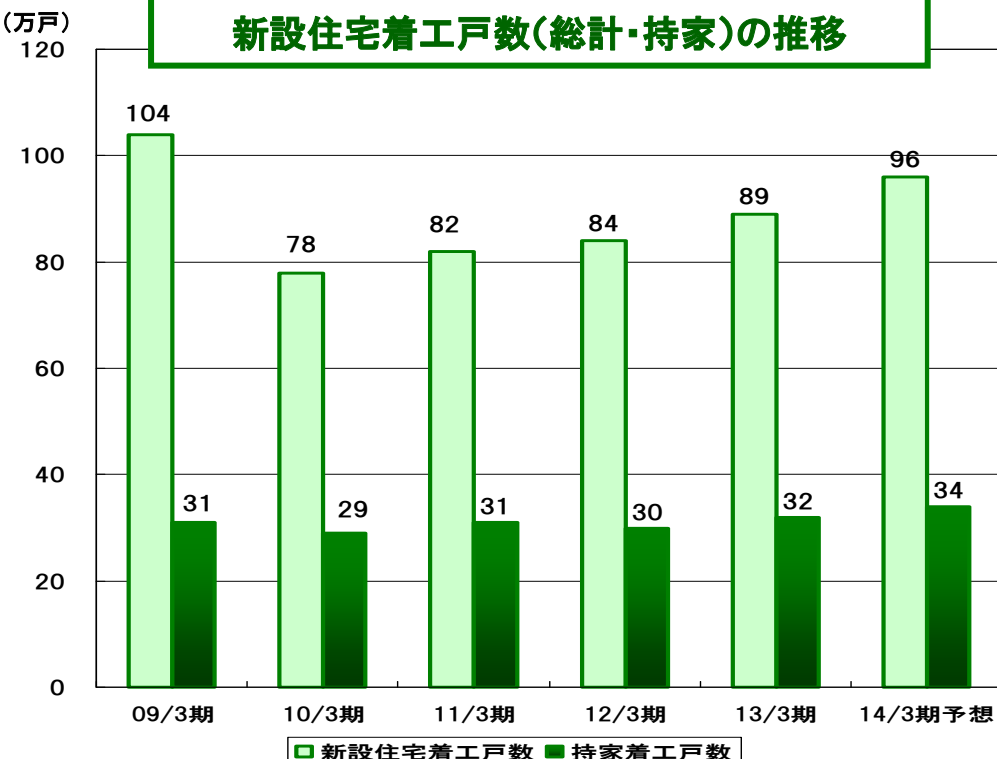
住宅市場

- 新設住宅着工戸数は96万戸、持家着工戸数については34万戸と期初予想を見直し。
- 消費税増税影響は、景況感、金利動向等、様々な要因が絡むため、予測が困難。

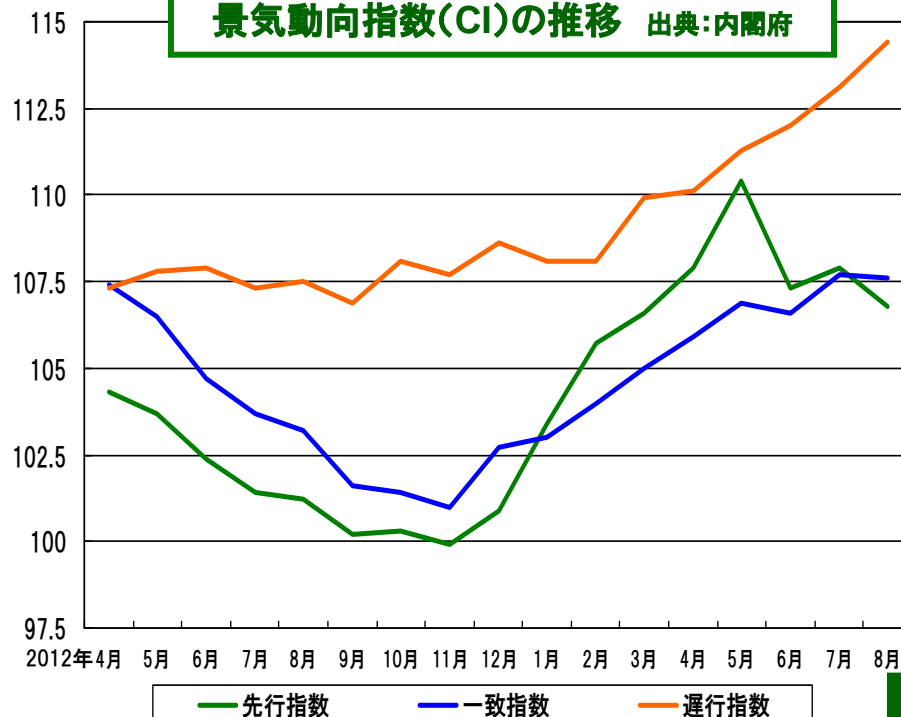
当社のスタンス

- 消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減が発生する前提のもと、事業戦略を推進していく。

新設住宅着工戸数(総計・持家)の推移



景気動向指数(CI)の推移 出典:内閣府



堅調な国内住宅市場を背景に、 主力事業が牽引し、増収増益。

- 上期業績は、堅調な国内住宅市場を背景に主力事業が業績を牽引し、期初予想も上回る。
- 戸建注文住宅の受注も、金利先高感、消費マインド改善、消費税増税影響といった外部要因だけではなく、新たな展示場戦略等、当社施策の効果もあり、好調に推移。



プロト展示場

2014年3月期 第2四半期実績

(単位:億円)

(連結)	13/3期2Q	14/3期 2Q	前期比	14/3期 2Q 期初予想	予想比
売上高	3,921	4,349	+10.9%	4,200	+3.6%
営業利益	68	103	+50.9%	80	+29.0%
経常利益	75	108	+44.8%	78	+39.0%
四半期純利益	36	111	+206.9%	41	+170.1%

上期業績の上振れを受け、通期業績計画を上方修正。

- 上期業績の期初計画に対する上振れを受け、通期計画を上方修正。
- 消費税増税影響の予測が困難であるため、通期受注計画は、期初予想を据え置き、最低限の目標とする。



My Select BF-Si

2014年3月期 通期計画

(連結)	13/3期	14/3期予想	前期比
売上高	8,452	9,350	+10.6%
営業利益	253	300	+18.4%
経常利益	270	300	+11.2%
当期純利益	159	210	+31.9%

(単位:億円)

14/3期 期初予想	期初予想比
9,000	+3.9%
275	+9.1%
280	+7.1%
160	+31.3%

的確な戦略を進めることで、
市場における当社グループのプレゼンスを高めていく。

戸建注文住宅事業

- 戸建注文住宅事業は、期初の想定以上の受注積み上げにより、通期販売棟数が期初予想を上回る見込み。
- 下期は、1ヶ月におよぶ「うめだ住まい博」開催等、来期を見据えた受注拡大に注力する。

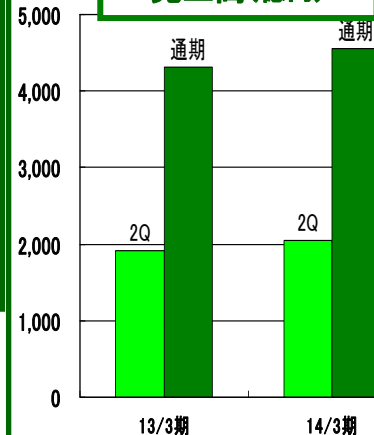


ストック住宅事業

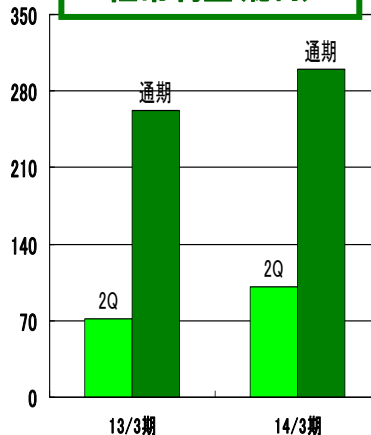
- ストック住宅事業の主力であるリフォーム事業は、順調に拡大。業績も堅調に推移。

<住宅事業セグメント>

売上高(億円)

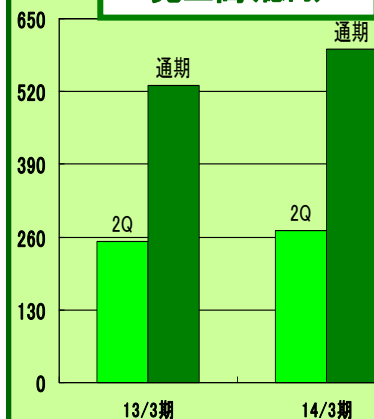


経常利益(億円)

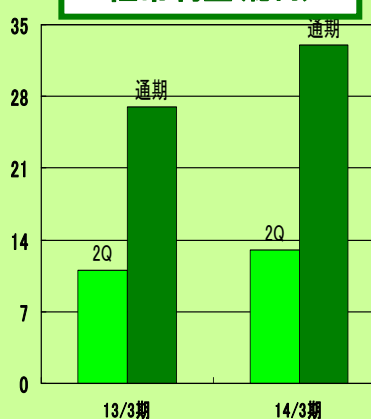


<リフォーム事業(住友林業ホームテック)>

売上高(億円)



経常利益(億円)



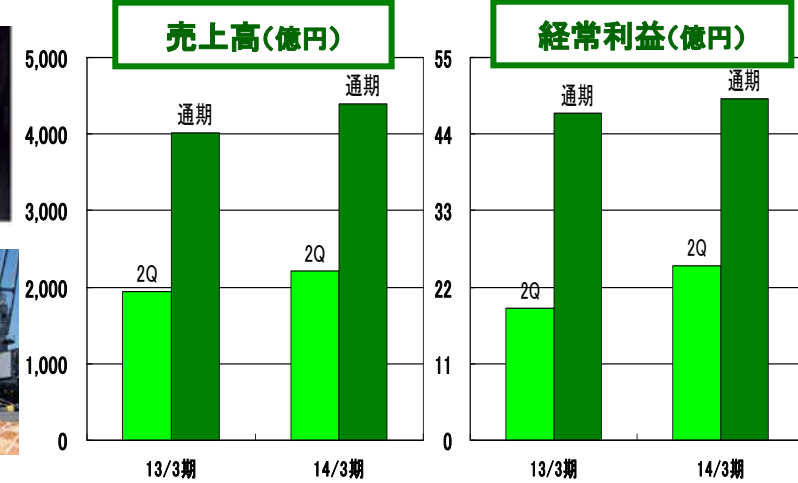
木材建材事業は国内トップシェアを維持・拡大。 海外事業は全般的に業績は上向きで、黒字化が射程圏内に。

木材建材事業

- 好調な住宅市場を反映した需要増加を取り込むことができている。
- 市場拡大が見込まれる、環境資材やリフォーム資材等の販売に注力。



＜木材建材事業セグメント＞

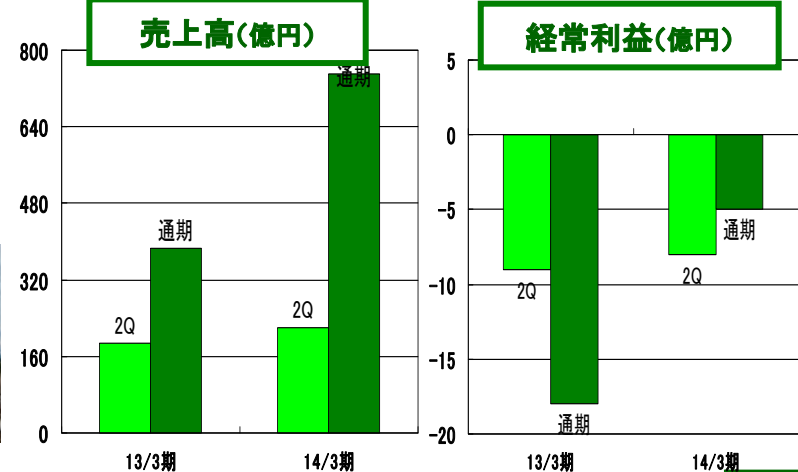


海外事業

- 新規事業における先行投資の影響等もあり、全体としては、赤字であるものの、将来を見据えた事業拡大と不振事業改善が進む。
- 来期の黒字化が射程圏内となっており、今後も重要な成長事業の1つとして、経営資源を積極的に投入。



＜海外事業セグメント＞

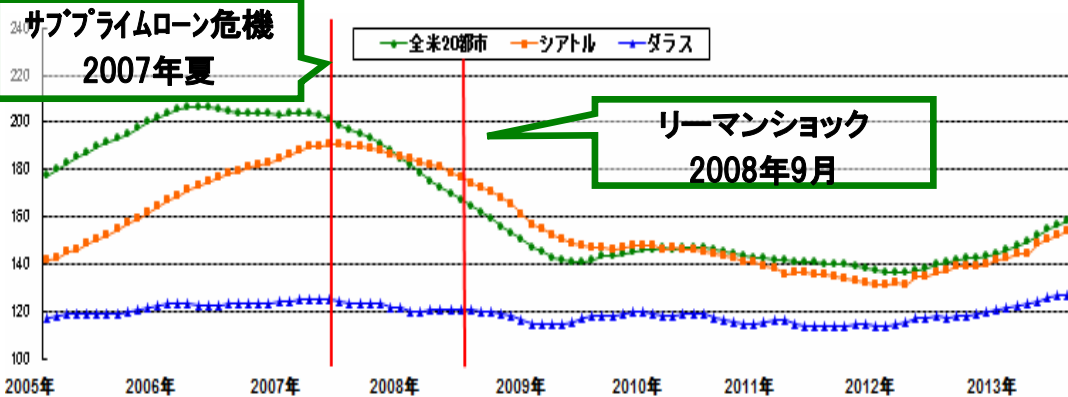


米国は事業エリア拡大、 豪州は厳しい環境下でも業績は堅調に推移。

米国住宅事業

- ・今年6月にテキサス州の住宅会社の持分50%を取得。事業エリアであるダラスは、リーマンショック等の影響を、ほとんど受けていない。
- ・中期的に、米国全体で年間1,500棟の販売体制構築を目指す。

＜ケース・シラー住宅価格指数 推移(2005年1月～2013年8月)＞



テキサス州のモデルハウス

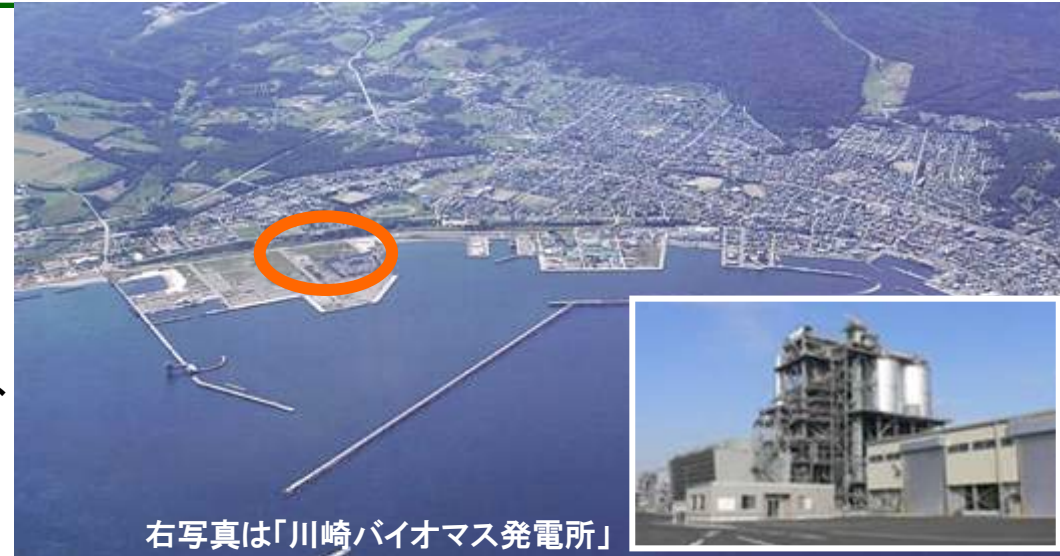
販売棟数 推移(棟)	12/3期		13/3期		14/3期	
	2Q	通期	2Q	通期	2Q	通期 予想
シアトル地区	42	83	103	229	122	260
テキサス州	-	-	-	-	-	300
米国 合計	42	83	103	229	122	560

豪州住宅事業

- ・今年9月にヘンリーグループの持分追加取得を行い、子会社化。
- ・同グループの業績は、回復途上の厳しい市場環境の中でも健闘。

販売棟数 推移(棟)	12/3期		13/3期		14/3期	
	2Q	通期	2Q	通期	2Q	通期 予想
豪州	792	1,689	821	1,820	802	1,750

紋別市での発電事業を決定 2016年12月より営業運転を開始



右写真は「川崎バイオマス発電所」



- ・未利用の林地残材や間伐材等の有効活用に繋がる。
- ・木質資源の活用により森林の価値を高めることができ、林業の活性化や、雇用の創出によって地域への貢献が図れるなど、社会的な意義も大きい事業。

バイオマス発電事業

木化事業

「平成25年度 木造建築技術先導事業」に採択

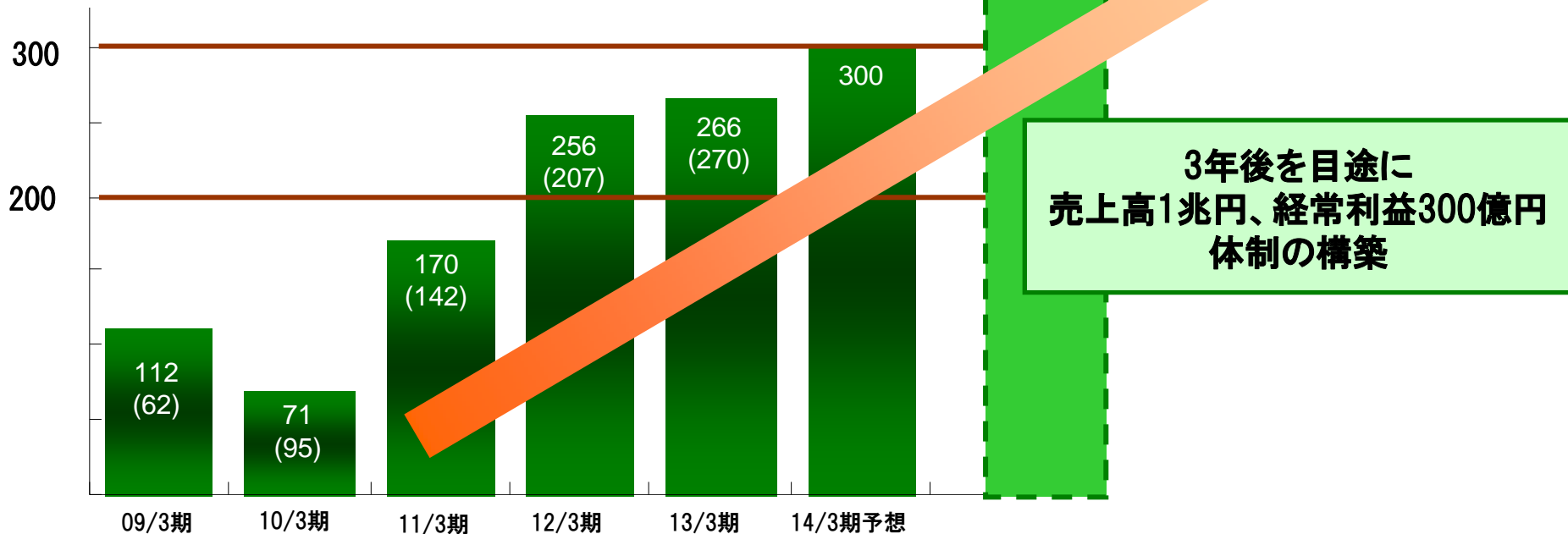
- ・設計・施工を担当する5,000㎡超の有料老人ホーム、デイサービスセンターが採択を受ける。
- ・当社独自の開発技術により、耐火性能と断熱性能の両立を実現しつつコスト低減を可能とした。



2014年3月期 期初に新たな目標を設定

経常利益: 億円 (数理差異除く)

()の数値は数理差異を含む



国内の新築住宅着工戸数に過度に依存しない
バランスの取れた収益ポートフォリオの構築

- 株主への利益還元については、収益水準や内部留保の状況、今後の事業展開等を総合的に勘案し、継続的かつ安定的に行うことを基本方針としています。

2013年3月期 配当実績

中間配当	7.5円/株	
期末配当	9.5円/株	<u>年間配当 17円/株</u>

2014年3月期 配当予想

中間配当	9.5円/株	
期末配当	9.5円/株	<u>年間配当 19円/株</u>

**本資料上の予想数値は現時点での予測に基づいており、
実際の業績はこれらの予想と異なる場合があります。**